

## 行政調査報告書「建設常任委員会」

平成30年7月11日～13日

### ■札幌駅前通まちづくり株式会社（北海道札幌市）

『にぎわい創出のためのエリアマネジメントについて』



駅前通りに関連する企業等で会社が設立された。駅の地下空間の管理を行い、まちをよくするための調整役となっている。地下空間には延長520mの道路が通っており、複数の広場を貸し出している。広場ではイベント等が開催され、100%近い稼働率となっている。

本市はアンフォーレを中心ににぎわい創出を行っており、地域経済の活性化を担う安城ビジネス

コンシェルジュにも注視したい。

### ■宮城県仙台市『あすと長町土地区画整理事業について』

駅前にあった貨物ヤードの跡地で平成9年度から区画整理を実施し、平成30年度に事業が完了した。駅の高架化や新駅の設置により利便性が向上し、商業施設、マンション、アリーナ等を建設する大規模な整備であった。まちづくりの方向性は、市民や有識者による検討委員会の提言を基にまとめられた。



本市の区画整理とは規模が異なるが、まちづくりのコンセプトや市民との対話の持ち方については参考になった。

### ■一般社団法人 淡路町エリアマネジメント（東京都千代田区）『ワテラスについて』



小学校跡地にできた高層ビルで、住宅、学生用賃貸住宅、店舗、オフィス等がある。地権者の不動産会社が行政の協力を得ながら再開発を行った。ワテラスを拠点に、昔から根付いていた良好な地域のコミュニティを維持した地域活動を推進し、支援するために一般社団法人が設立された。学生用賃貸住宅に居住する学生は法人の学生会員となり地域活動を行っている。住民、学生、地域、行政が連携し、まちづくり

りや地域交流をしている点は本市も見習いたい。